

12月の安全衛生歳時記

2023年12月の安全衛生カレンダー

1日～8日

11月1日～3月31日 ◎冬の省エネキャンペーン（経済産業省） ◎ウォームビズ（環境省）

11月15日～1月31日 ◎農業倉庫火災・盗難予防月間（JA）

12月1日～31日 ◎歳末たすけあい運動【◎赤い羽根共同募金運動（10月1日～3月31日）】

◎地球温暖化防止月間（環境省） ◎大気汚染防止推進月間（環境省）

◎脱スバイクタイヤ推進月間（環境省） ◎職場のハラスメント撲滅月間（厚生労働省）

12月1日～1月15日 ◎年末年始無災害運動（中災防・厚生労働省）

◎建設業年末年始労働災害防止強調期間（建設業労働災害防止協会）

12月1日～4月30日 ◎安全衛生教育促進運動（中災防）

1日（金）◎雪崩防災週間（～7日、国土交通省）

・冬の省エネ総点検の日（資源エネルギー庁） ・省エネの日（毎月1日）

・世界エイズデー（WHO、厚生労働省）

・鉄の記念日 1857（安政4）年、岩手県の釜石高炉で近代製鉄の操業開始を記念（日本鉄鋼連盟）

・防災用品点検の日 防災アドバイザーの山村武彦氏が提唱、3月、6月、9月、12月各月1日の年4回

・交通安全標語で「せまい日本そんなに急いでどこへゆく」が最優秀に 1972（昭和47）

★丹那トンネル開通、御殿場経由の路線は御殿場線に、大正7年着工以来の犠牲者 67人 1934（昭和9）

★地下鉄軌道内で、試運転列車にはねられ2人死亡 駅ホーム前の軌道内でレールの継ぎ目を撮影中 横浜・都筑 2006（平成16）

2日（土）・原子炉の日 1942（昭和17）年、シカゴ大学でウランの核分裂の持続的な連鎖反応に成功

・国勢調査で日本の人口が初めて1億人を超す 1970（昭和45）（2005（平成17）から減少、ピーク1億2,787万人）

★インド・ポバールの殺虫剤工場で有毒ガスが漏出、3,000人以上が死亡、被害者 20万人 1984（昭和59）

★化学工場で硫酸タンクを電動研磨機で補修作業中爆発、3人重傷 千葉・千葉 2011（平成23）

★笹子トンネルで天井コンクリート板 130m が崩落、車 3台 下敷き、9人死亡、2人重軽傷 山梨・笹子 2012（平成24）

3日（日）◎障害者週間（～9日、内閣府） ・国際障害者デー（国連）

★廃棄物処理船で船倉を清掃中酸欠事故、1人死亡、2人負傷 福岡・北九州 2003（平成15）

★建設中の吊橋で、強風でゴンドラが約40m落下して2人死亡 富山・射水 2010（平成22）

4日（月）◎人権週間（～10日、1948〔昭和23〕年、国連総会で世界人権宣言が採択されたのを記念、法務省）

・血清療法の日 1890（明治23）年、北里柴三郎とベーリングが破傷風とジフテリアの血清療法の発見を発表

★化学工場で塩化メチルアニリン製造設備のタンクが爆発、3人死亡、3人負傷 茨城・鹿島 1973（昭和48）

★造船所で修理中のタンカーが火災 6人死亡、16人負傷 長崎・長崎 1974（昭和49）

★工場火災で3人死傷 金属加工工場で電動カッターで切断中爆発火災、作業衣に燃え移り1人死亡、2人重傷の火傷 栃木・小山 2010（平成22）

★新幹線高架橋塗装工事現場で、吊り足場のチェーンが切れて転落、8人重軽傷 大阪・淀川 2015（平成27）

★貴金属回収・精製工場で、スクラップを粉碎中に粉じん爆発、2人重軽傷 千葉・市川 2018（平成30）

5日（火）・経済・社会開発のための国際ボランティアデー（国連）

・広島島の原爆ドームと厳島神社が世界遺産に 1996（平成8）

★ホームに停車中の電車に後続電車が追突、2人死亡、116人負傷 東京・中央線中野駅 1988（昭和63）

6日（水）★市営浄水場で殺菌用塩素ガスボンベ交換中ガスが噴出、375人中毒 大阪・豊中 1971（昭和46）

★砂防ダム復旧工事現場で土石流、14人死亡、7人重軽傷 長野・小谷村 1996（平成8）

★地下埋設ガスタンク建設現場でゴンドラから落下して3人死亡 神奈川・横浜 1997（平成9）

★水道工事中のマンホール内で爆発事故、中で作業していた作業員2人が死亡 東京・江戸川 2022（令和4）

7日（木）・大雪（たいせつ）（24節気の一つ、雪が多くなる時期）

★「東南海地震」東海地方でM7.9の大地震と津波 死者不明1,223人、全壊流失2万余 1944（昭和19）

★多目的ホール建設中に火災、4人死亡 ガスパナーを使って吹付け作業中にウレタンに引火 栃木・石橋 1995（平成7）

★「三陸沖地震」東北・関東地方で震度5弱、M7.4の地震 死者3人、負傷13人 2012（平成24）

8日（金）・太平洋戦争開戦記念日 1941（昭和16）年、大東亜戦争始る

★高速増殖炉「もんじゅ」で、2次冷却系の配管溶接部からナトリウム漏れ事故 福井・敦賀 1995（平成7）

12月の安全衛生歳時記

9日~20日

- 9日(土)★板金工場で酸素ボンベが爆発、5人死亡、7人負傷 埼玉・熊谷1970(昭和45)
★クレーン解体工事中操縦室部分が折れ作業者が落下、2人死亡 大阪・大阪2002(平成14)
★鉄鋼工場で溶鉄運搬中のトラックが横転、2人死亡 埼玉・久喜2003(平成15)
- 10日(日)◎年末年始の輸送等に関する安全総点検(~1月10日、国土交通省)
・LPガス消費者保安デー(毎月10日、高圧ガス保安協会)
・発がん性があるとして、DDT、BHCの製造を中止 1969(昭和44)
★3億円強奪事件 従業員に支給されるボーナス3億円を積んだ車が白バイ警官に扮した犯人に強奪された、事件は迷宮入り 東京・府中1968(昭和43)
- 11日(月)・ユニセフ設立記念日 国連児童基金(ユニセフ)が設立された1946(昭和21)
・胃腸の日(イニイイ、日本大衆薬工業協会)
・地球温暖化防止で温室効果ガスの削減を盛り込んだ「京都議定書」採択 1997(平成9)
★京浜第2国道で、火薬を積んだトラックが衝突爆発、4人死亡、98人負傷 神奈川・横浜1959(昭和34)
★石油精製工場棧橋で内港タンカーに石油製品を積荷中爆発、2人死亡、6人負傷 神奈川・横浜1974(昭和49)
★車の排ガスで一酸化炭素中毒3人死亡 シャッターの閉まった車庫内でエンジンかけ放し、3階住人1人巻き添え 札幌2005(平成17)
★薬品工場で遠心分離機内の有機溶剤が爆発、1人死亡、8人負傷 富山・富山2006(平成18)
★係留中の砂利運搬船で調理中のプロパンガスが爆発、1人死亡、4人重軽傷 大阪・北2012(平成22)
★下水道工事現場にタンクローリーが突っ込む 工事関係車4台が玉突き事故、2人死亡・5人負傷 千葉・千葉2019(令和元)
★建築資材製造工場で、遮熱シート巻取り作業中ローラーに巻込まれて死亡 滋賀・甲賀2020(令和2)
- 12日(火)・製品安全点検日(毎月第2火曜[火二(ひに)注意]、経済産業省)
・バッテリーの日(電池工業会、野球のバッテリーは1と2から)
★発電所工事現場で索道が切れてケーブルカーが墜落、15人死亡、6人負傷 福島・沼沢1951(昭和26)
- 13日(水)★病院の医療用液体酸素ボンベが爆発、患者・住民ら10人負傷 京都・山科2004(平成16)
★大型スーパー、ディスカウントストアで連続放火・火災3人死亡、8人負傷 15日にも連続放火 埼玉・さいたま市内2004(平成16)
★橋梁建設現場で、クレーンで吊り上げた橋げたが落下、1人死亡、3人負傷 和歌山・上富田2006(平成18)
- 14日(木)★鉄橋の解体工事現場で鉄橋が落下、5人死亡、11人負傷 東京・大田区・多摩川・旧六郷橋1984(昭和59)
★生コンクリート製造会社のサイロで生き埋め、作業員2人死亡 奈良・生駒2021(令和3)
- 15日(金)★福岡県方城炭鉱でガス爆発、671人死亡、日本最大の炭鉱事故 1914(大正3)
★飼料製造会社で作業員がフォークリフトにひかれ死亡 吊り下げた荷で視界が遮られていた 北海道・苫小牧2021(令和3)
- 16日(土)・電話の日 1890(明治23)年、日本初の電話が東京~横浜間で開通
★デパート火災で女性店員らが着物の裾の乱れを気にしてロープから手を離し転落等で14人死亡、40人負傷、以後女性の洋装が普及 東京・日本橋1932(昭和7)
★廃棄処理のスプレー缶のガスに引火、雑居ビルが爆発火災 負傷者52人 北海道・札幌2018(平成30)
★フィギュア制作会社で火災、4人救急搬送 塗装用エアブラシの清掃中に出火 大阪・浪速区2019(令和元)
- 17日(日)・石油コンビナート等災害防止法制定 1975(昭和50)
★製油所の棧橋で、ベンゼン積み込み中のタンカーが爆発、4人死亡 岡山1985(昭和60)
★「千葉県東方沖地震」関東南部で震度5、M6.7の地震 死者2人、負傷146人、家屋約6万棟が被災 1987(昭和62)
★ガス管撤去作業中酸欠で3人死亡 空港ビルで古いガス管撤去中プロパンガスが噴出し酸欠で 鹿児島1993(平成5)
★福井で電車が正面衝突、1人死亡、25人重軽傷 福井発下り電車が永平寺線から進入してきた上り電車が衝突 2000(平成12)
★特殊浴場施設で火災、3階建て鉄骨建物全焼 避難の遅れによる死者5人、負傷7人 埼玉・さいたま市2017(平成29)
★17日から20日にかけて北陸から東北地方にかけて大雪、除雪作業中等の死亡・負傷事故が多発 2022(令和4)
- 18日(月)・国連加盟記念日 1956(昭和31)、日本は80番目の加盟国に
・二輪・自転車安全日(毎月18日)
★三菱石油(株)水島製油所重油流出事故 重油の移送に失敗し、流出した重油が瀬戸内海に拡散 岡山・倉敷1974(昭和49)
★工事現場でクレーン車が横転、1人死亡、5人重軽傷 宮城・塩釜2019(令和元)
- 19日(火)・食育の日(毎月19日、内閣府)
・米、最後の月宇宙船アポロ17号が帰還、米の月有人計画が終る 1972(昭和47)
★クラブのショーで使用中の火がクリスマスツリーに引火して火災 3人死亡、78人負傷 茨城・日立1975(昭和50)
- 20日(水)・道路交通法施行記念日 1960(昭和35)年、道交法施行
・霧笛記念日 1879(明治12)年、青森県尻屋崎灯台に日本初の霧笛
・マイカーチェックデー(毎月20日)
★パルプ工場でカセイソーダを浴びて3人死亡 カセイソーダをパイプラインに送るポンプ整備中 北海道・白老2001(平成13)

12月の安全衛生歳時記

21日~31日

- 21日(木)・通産省(現経済産業省)がプロパンガスに匂いをつけるなどの事故防止策を決定 1962(昭和37)
★「北海道大地震」近畿・四国にM8.0の大地震 死者不明1,443人、全壊建物1万戸超 1946(昭和21)
★舞台装置を点検中「せり」と舞台の間に挟まれて3人死亡、2人負傷 東京・北2001(平成13)
★化学工場のエチレン分解炉付近から火災、4人死亡 配管メンテ作業中、冷却用油に引火 茨城・神栖 2007(平成19)
- 22日(金)・冬至
・内閣制度が始まる(太政官制度廃止) 伊藤博文が初代総理大臣 1885(明治18)
・労働組合法制定記念日 1945(昭和20)
・改正民法公布記念日 家父長制の家族制度が廃止 1947(昭和22)
★化学工場で硝酸廃液が爆発、22人死亡、233人負傷 愛知・名古屋 1952(昭和27)
★製油工場で油脂抽出機の修理作業中、溶剤(トルエン)が爆発・火災、8人死亡 大阪・泉佐野 1991(平成3)
★新潟県下越地方で暴風雪による大規模停電 約65万軒に及ぶ停電、完全復旧に7時間 2005(平成17)
★製鋼工場で製作中の加熱炉の部品が倒れ、2人が下敷きになって死亡 北海道・室蘭 2010(平成22)
★糸魚川市大規模火災 ラーメン店の大型コンロから出火して強風で延焼、147棟焼損、負傷17人 新潟・糸魚川 2016(平成28)
★ホテルの立体駐車場で補修作業中、消火装置の二酸化炭素が誤放出 作業者1人死亡 名古屋 2020(令和2)
- 23日(土)★製鉄所で高炉の定期点検中可燃性ガスに引火爆発、4人負傷 岡山・倉敷 2003(平成15)
- 24日(日)・「消費税法」成立 1988(昭和63) 実施は翌年4月
・SL(蒸気機関車)が室蘭本線で最後の貨物列車を運転 1975(昭和50)
★靴底加工工場の集じん機内で粉じん爆発・火災 5人死亡、21人負傷 東京・台東 1994(平成6)
★石灰製造工場で焼成炉の耐火レンガ張替え中レンガが崩落、1人死亡、3人重軽傷 岡山・真庭 2007(平成19)
★化学工場でタンク爆発、4人死亡 タンク内の汚泥除去の為電動ノコで穴開け中爆発 大阪・淀川 2010(平成22)
- 25日(月)・クリスマス
・昭和改元の日 1926(大正15,昭和元)年、昭和と改元
・公害関係14法案が成立公布 1970(昭和45)
・公職選挙法改正、小選挙区比例代表並立制に 1994(平成6)
★JR羽越線、突風で特急が脱線転覆、5人死亡、32人負傷 6両編成のうち2両脱線転覆、3両脱線 山形・庄内 2005(平成17)
★走行中の大型トレーラーから積荷の鉄板25枚落下、対向乗用車を直撃、2人死亡 広島・東広島 2012(平成24)
- 26日(火)・キュリー夫妻、ラジウムを発見 1898(明治4)
★18t缶入マグネシウムが出火、注水により爆発、9人死亡、30人負傷 愛知・名古屋 1952(昭和27)
★造船工場でタワークレーンのワイヤーが破断してアームが倒壊、2人死亡、4人負傷 愛媛・八幡浜 1988(昭和63)
★スマトラ島沖でM9.3巨大地震、大津波で死者不明20万人超 2004(平成16)
★化学工場のLPGタンク塗装作業中転落して2人死亡 千葉・袖ヶ浦 2006(平成18)
- 27日(水)・国民健康保険法公布 1958(昭和33)
★黒部第三発電所工事現場で雪崩が作業員宿舎を直撃、85人死亡 1938(昭和13)
★鉄線製造工場で集じん機の清掃作業中CO中毒、1人死亡、1人負傷 大阪・鶴見区 2004(平成16)
★密集地にある化学工場で爆発、火災 約2,600㎡が延焼、化学薬品を扱う工場のため近隣住民避難 東京・墨田 2021(令和4)
- 28日(木)・身体検査の日 1888(明治21)年、文部省(現文部科学省)がすべての学校に生徒の身体検査の実施を訓令
・初めて臨床的なエックス線写真撮影 ウィーン 1895(明治28)
・毒物及び劇物取締法公布 1950(昭和25)
★三陸はるか沖地震(M7.5)、津波により3人死亡、788人負傷 1994(平成6)
★回送中の列車が突風で高さ約40mの橋梁から転落 工場を直撃し従業員ら6人死亡、6人負傷 兵庫・鎧~余部間 1986(昭和61)
★住宅3階で就寝中の5人が一酸化炭素中毒で死亡 エンジンを切り忘れたガレージの車からの排ガスで 東京・大田 1996(平成8)
★自動車部品工場でクレーンで大型プレス機を設置中支柱が落下、2人重傷 静岡・富士 2014(平成26)
- 29日(金)・清水トンネル貫通記念日 1929(昭和4) 上越線の土樽~土合間9,704m、当時日本最長、7年の歳月と延べ240万人動員
★温泉の硫化水素中毒で親子4人死亡 屋外共同駐車場の雪山の中に溜まった硫化水素を吸って 秋田・泥湯温泉 2005(平成17)
- 30日(土)★ホテルで深夜に火災、3人死亡、1人負傷 大分・別府 1988(昭和63)
- 31日(日)・大晦日
★木造アパートで火災、独居老人ら6人死亡、2人負傷 大阪・東大阪 1988(昭和63)
★北アルプス剋岳で雪のひさしが崩れて滑落、表層雪崩に巻き込まれて5人死亡 1997(平成9)

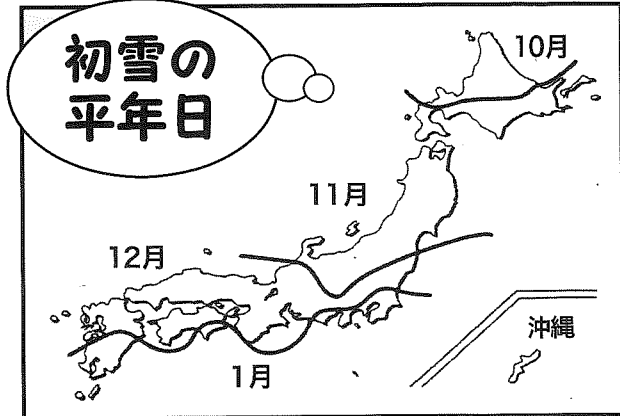
※「事故災害事例」は、国内の重大な事故・労災・気象災害等の中から選んでいます。

12月の安全衛生歳時記

12月の気象と安全・衛生・防災管理

	日の出・日の入		気温 (°C)	湿度 (%)	日照時間 (h)
	日の出	日の入			
北海道(札幌)	6:58	16:00	-0.9	68	82.7
青森	6:54	16:10	1.4	78	50.4
岩手(盛岡)	6:48	16:12	0.8	75	103.7
宮城(仙台)	6:45	16:17	4.5	68	136.3
秋田	6:53	16:16	2.8	74	45.3
山形	6:53	16:16	2.4	81	73.8
福島	6:46	16:20	4.3	70	118.7
茨城(水戸)	6:42	16:24	5.6	68	178.0
栃木(宇都宮)	6:45	16:26	5.1	66	197.4
群馬(前橋)	6:47	16:30	6.1	57	202.0
埼玉(熊谷)	6:44	16:29	6.5	58	200.9
千葉(銚子)	6:41	16:28	9.3	66	163.7
東京	6:43	16:29	7.7	56	174.4
神奈川(横浜)	6:43	16:30	8.7	57	178.1
新潟	6:52	16:26	5.3	74	62.9
富山	6:56	16:36	5.7	81	70.7
石川(金沢)	6:58	16:39	6.8	72	68.9
福井	6:58	16:42	5.9	81	72.2
山梨(甲府)	6:47	16:34	5.4	60	200.9
長野	6:52	16:32	2.3	79	131.1
岐阜	6:54	16:41	7.0	68	155.6
静岡	6:46	16:36	9.3	60	200.5
愛知(名古屋)	6:53	16:41	7.2	66	170.3
三重(津)	6:53	16:44	8.1	63	171.5
滋賀(彦根)	6:56	16:46	6.5	75	106.4
京都	6:57	16:47	7.2	68	134.4
大阪	6:57	16:48	8.7	62	152.1
兵庫(神戸)	6:58	16:50	8.8	62	153.2
奈良	6:56	16:47	6.4	73	124.4
和歌山	6:57	16:51	8.6	63	135.4
鳥取	7:04	16:51	6.8	76	82.6
島根(松江)	7:09	16:56	7.0	76	78.8
岡山	7:03	16:55	6.6	71	153.8
広島	7:09	17:01	7.5	68	140.6
山口(下関)	7:12	17:06	9.5	63	102.6
徳島	6:59	16:54	8.7	63	160.1
香川(高松)	7:02	16:55	8.1	66	142.7
愛媛(松山)	7:06	17:02	8.5	65	129.8
高知	7:02	16:59	8.8	64	184.6
福岡	7:15	17:12	9.1	63	112.2
佐賀	7:14	17:13	7.8	70	137.9
長崎	7:15	17:16	9.4	67	114.3
熊本	7:12	17:12	8.0	71	143.4
大分	7:09	17:08	8.7	64	151.2
宮崎	7:07	17:12	9.7	69	183.9
鹿児島	7:09	17:16	10.9	67	143.2
沖縄(那覇)	7:09	17:40	19.0	67	107.4

※日の出・日の入：15日における時刻（国立天文台）
 ※気温：1991～2020年の平均値（理科年表）



●12月に入ると「西高東低」の冬型の気圧配置となり、日本海側ではみぞれや雪、太平洋側では乾燥した冷たい風が吹くことが多くあります。特に下旬は強い寒波に見舞われることがあります。

また、日本海側を発達した低気圧が通過すると「冬の嵐」により、広範囲で大荒れの天気になることがあります。昨年は福島・新潟両県などで記録的な大雪が降り、国道で車の立ち往生や渋滞による通行止めが発生しました。平成17年12月25日には、JR羽越線で突風により特急列車が脱線転覆するという事故が起こっています。

外出時、屋外での作業、また帰省などの際には注意が必要です。

●朝晩を中心に室内の気温と外の気温の差が激しく、特に月の上旬は厳しい寒さに体がまだ慣れていないため、寒暖差によって体調を崩すことがあります。

また、空気が乾燥した状態が続くため、のどや粘膜の乾燥が免疫力を低下させ、風邪など引きやすくなります。水分を補給してのどを潤すなど、体調管理を心がけましょう。

●年末を迎えて何かと慌ただしい時期です。作業手順の省略や確認漏れ、また車の運転など油断のないように気を付けましょう。

12月の安全衛生歳時記

12月1日~1月15日

建設業年末年始労働災害防止強調期間

無事故の歳末 明るい正月

年末年始を
ゼロ災害



12月1日から来年1月15日は「無事故の歳末 明るい正月」のスローガンのもと、「建設業年末年始労働災害防止強調期間」です。（建設業労働災害防止協会、後援 厚生労働省、国土交通省）

例年、年末年始は工事が輻輳し、また寒冷な環境での作業になることから、労働災害の防止に特別の配慮が必要となります。これに対処して年末年始の労働災害防止の徹底を図ることを目的に、この運動が実施されます。

店社と作業所の緊密な連携のもと、下記の重点実施事項を参考に効果的な安全衛生管理・活動を推進しましょう。

《令和5年度 重点実施事項》

- ① 経営トップ等による現場点検の実施
- ② 墜落・転落災害の防止
- ③ 建設機械・クレーン等災害の防止
- ④ 倒壊・崩壊災害の防止
- ⑤ 交通労働災害の防止
- ⑥ 火災・爆発等災害の防止
- ⑦ 転倒災害の防止
- ⑧ 不安全行動による災害の防止
- ⑨ 公衆災害の防止
- ⑩ 積雪・雪崩災害の防止
- ⑪ 職業性疾病の防止
- ⑫ 化学物質に関する健康障害の防止
- ⑬ メンタルヘルス対策の推進
- ⑭ 健康確保対策の推進
- ⑮ 作業所閉所中の対策

また、計画立案・活動の実施に当たっては、「建設業労働災害防止規程」、「第9次建設業労働災害防止5か年計画」及び「令和5年度建設業労働災害防止対策実施事項」に定める「建設現場における主要災害防止の具体的対策」等の活用を推奨しています。（詳細は建災防HPに）

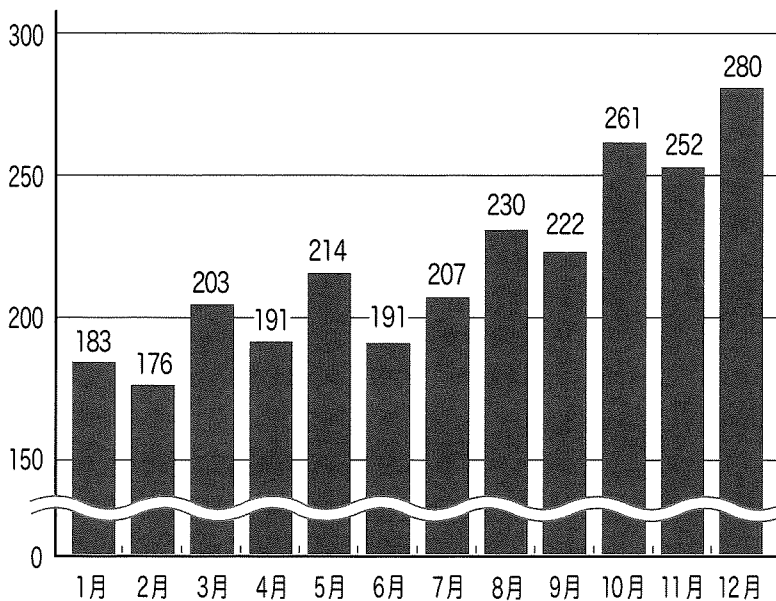
12月の安全衛生歳時記

12月10日～1月10日

年末年始の輸送等に関する安全総点検

12月は交通事故死者の最多月

令和4年月別交通事故死者数



12月10日から来年1月10日までは「令和5年度 年末年始の輸送等に関する安全総点検」の期間です。(国土交通省)

大量の輸送需要が発生し、交通機関等に旅客や貨物が集中する年末年始は、ひとたび事故等が発生した場合、大きな被害となることが予想されます。このため国土交通省では、交通機関等におい

て、自主点検等を通じ、安全確保と事故防止の徹底を図ることを目的に、毎年実施しています。

実施内容は、陸・海・空の輸送機関等について、安全管理・安全対策等の実施状況、関係法令等の順守状況、施設等の点検整備状況等を点検して充実を図ることとしています。重点実施事項等については、例年次のような内容が含まれています。

- ◆安全管理（特に乗務員の健康・過労状態の把握、乗務員に対する指導監督体制）の実施状況
- ◆車両等及び施設の保守及び整備の実施状況
- ◆自然災害、事故等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況
- ◆テロ防止のための警戒体制やテロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況、テロ発生を想定した訓練の実施状況
- ◆新型インフルエンザ等感染症対策の実施状況
…など。

上表のとおり12月は、交通事故死者が最も多い月です。輸送・交通関係に限らず、各事業場でも構内外の交通安全について総点検を実施して、年末年始の交通安全を徹底しましょう。

12月の安全衛生歳時記

12月1日～1月15日

年末年始無災害運動

「健康と安全で 幸せつなぐ年末年始」

事業場の実施事項

(1) 年末年始に実施する事項

- ① 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
- ② 安全衛生パトロールの実施
- ③ 機械設備に係る一斉検査および作業前点検の実施
- ④ 年末時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底、掲示や旗の掲げ替え
- ⑤ 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
- ⑥ 年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示

(2) 年末年始に実施状況を確認する事項

- ① KY(危険予知) 活動を活用した非定常作業における労働災害防止対策の徹底
- ② 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検と整備・更新
- ③ 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
- ④ 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
- ⑤ 火気の点検、確認など火気管理の徹底
- ⑥ 交通労働災害防止対策の推進
- ⑦ 過重労働をしない・させない職場環境づくり
- ⑧ 健康的な生活習慣(睡眠、食事、運動等)に関する健康指導などの実施
- ⑨ 感染症拡大防止対策の徹底
- ⑩ 職場のハラスメント防止につながる取り組みの推進
- ⑪ 自然災害等に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
- ⑫ 安全衛生旗の掲揚、その他安全衛生意識高揚のための活動の実施

※令和5年度 年末年始無災害運動実施要領より

「健康と安全で 幸せつなぐ年末年始」を運動標語として、12月1日から1月15日まで「年末年始無災害運動」が実施されます。

(主催 中央労働災害防止協会 後援 厚生労働省)

この運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取組促進を目的に昭和46年から実施されており、今年で53回目を迎えます。

本年8月末までの労働災害発生状況(コロナ関連を除く)において休業4日以上の死傷者数は前年同期比で2・4%の増加、業種別では製造業で1・9%、第三次産業で4・6%増となつ

ています。事故の型別では「転倒」が2・6%、「動作の反動・無理な動作」で7・1%増でした。

年末年始は慌しい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなり、また、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増します。

職場の安全と健康を確保するためには、全ての関係者が一丸となって安全衛生活動に取り組むことが大切です。

左記実施事項を中心とした安全衛生管理・活動を強力に推進して、無事故・無災害で年末を乗り切り、明るい新年を迎えましょう。